



食品に関するリスクコミュニケーション(意見交換会)

「食品の安全を守る取組～農場から食卓まで～」を開催しました

2017年3月、食品安全委員会、消費者庁、厚生労働省及び農林水産省の4府省は、食品に関するリスクコミュニケーション「食品の安全を守る取組～農場から食卓まで～」を大阪府と東京都で開催しました。本会は、農場から食卓に至るフードチェーン全体で、いかに食品の安全が確保されているかを情報提供し、参加者の皆様と意見交換を行うものです。

はじめに、食品安全委員会から一日摂取許容量 (ADI) や急性参照用量 (ARfD) などについて情報提供しました。その後、厚生労働省から基準値の設定及び残留農薬などの一日摂取量調査の結果について情報提供しました。農林水産省から農薬の使用基準の設定や農家への周知などについて、最後に消費者庁からリスクコミュニケーションについて情報提供しました。その後、



リスク評価についての情報提供（東京）

幅広い参加者の方々と意見交換も行われました。



意見交換会開催結果 http://www.fsc.go.jp/koukan/dantai_jisseki28.html

国際専門家招へいプログラム

国際会議「食品安全のための科学的国際協力の未来には何があるのか」を開催しました

2017年4月26日、東京ウィメンズプラザ（東京・神宮前）において、欧州食品安全機関（European Food Safety Authority、EFSA）と共催で、食品のリスク評価分野における国際協力について議論する国際会議を開催しました。約200名の聴講者が参加し大盛況となりました。

本会議では、日本、東南アジア及び欧州のリスク評価機関が参加し、それぞれが直面している問題、現在の取組及び今後の展望について認識を共有す

るとともに、食品のリスク評価分野における今後の効果的な国際協力のあり方について議論しました。共同議長である佐藤委員長とEFSAのワール長官は、戦略的リスクコミュニケーション等の課題を挙げました。欧州とアジアがグローバルに評価手法を共有することを見据え、国際機関が共同ネットワークを築くことや対面での会議が重要であり、この

会議のような企画を続けていくことも有効であると示しました。

なお、会議の詳細や当日の配布資料等は、以下のURLから入手できます。ぜひご覧ください。



パネルディスカッション



会議資料詳細 <http://www.fsc.go.jp/fscis/meetingMaterial/show/kai20170426ik1>

「第12回食育推進全国大会 in おかやま」に出展しました

2017年6月30日・7月1日の2日間、岡山県岡山市で開催された「第12回食育推進全国大会 in おかやま」においてブースに出展し、食品健康影響評価に関するパネルの展示や季刊誌

の配布を行いました。当委員会の食品健康影響評価の内容や食品安全行政のしくみについて情報提供し、来場者からの質問に答える機会となりました。



ブース展示の様子